

# 行政視察報告

## 議会運営委員会

### 視察期間

平成十八年八月八日から八月九日まで

### 視察先と視察事項

埼玉県戸田市

・議会改革及び議会の活性化について  
埼玉県桶川市

### 視察概要

戸田市は、埼玉県南部に位置し、人

口約十一万七千人、面積約十八km<sup>2</sup>で東

京都に隣接し都心から二十km圏であり

JR埼京線で新宿まで二十分の距離に

ある。議会改革全般について調査研究

のため平成十五年二月に特別委員会を

設置し、議会改革に取り組んでいる。

財政力指数は都下第一位であり、昭和

五十八年以来普通交付税不交付団体とな

っている余裕が感じられる豊かな市であ

る。また人口増の街と将来を見込んで議

員削減一名を実施、自治会からの削減申

去る7月5日に発覚した岐阜県の「裏金問題」は、すべての県民が激しい衝撃を受け、強い憤りを感じているところである。

この原因は、前知事をはじめとする旧中枢幹部と予算執行に携わる県職員の公務員意識の欠如、県民の膏血の結晶である貴重な税金などの公金に対する感覚の麻痺と軽薄な認識以外の何ものでもない。

我々土岐市議会は厳しい財政状況のなか、議員定数の削減をはじめとする様々な議会改革、行政改革を進め、市民サービスが低下しないよう必死の努力をしているにもかかわらず、今回の裏金づくりという犯罪行為は、ひとり岐阜県政のみならず地方行政全般に対する疑念と不信感を招いているのである。

いま、知事におかれては事件の真相究明と責任の明確化、裏金の返還等について刑事告発も含めてご尽瘁されているところであり、二度とこのような問題が発生しないよう、速やかに再発防止策を講じられ、一日も早く信頼回復に努められるよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成18年9月25日

土岐市議会

岐阜県知事 宛  
岐阜県議会

## 岐阜県の「裏金問題」に関する意見書を可決

## 岐阜県の「裏金問題」に関する意見書



戸田市にて

し入れがないという、土岐市とは大きな格差があることを痛感した。

桶川市は、埼玉県の中央に位置し、人口約七万四千人、面積約二五km<sup>2</sup>、東京へは約四〇km、中山道桶川宿として、農産物の集散地兼宿場町として栄えたところだ。議会改革への取り組みは、平成十七年度予算編成に生かすことが出来るもの、平成十七年三月定例会までに検討を要するもの、新庁舎建設により対応可能なもの、継続して検討するもの、と提案事項が策定、検討され実施されている。

今、厳しい財政環境の中、多くの自治体で行政運営を全面的に見直し、それにより新たな財源を生み出し、効率的な経営に真剣に取り組んでいる。行革によって、財源を生み出し、その財源で街づくりを積極的に進めるのが目的である。

行革は前向きな素晴らしい希望に満ちたものであり、議会も住民もそして共通認識を全職員が持ち、一丸となつて、行政改革の推進を図っていくことが必要であることを痛感しました。

